

# 本市の障がい者スポーツと 就労支援等について

権田 昌弘 議員

**質問** 障がい者スポーツの取り組みの現状を伺います。

**答** ヘルスバレーボール交流大会、ポッチャ体験教室、ふれあいスポーツ大会などを実施しております。

**質問** 障がい者スポーツが普及されない原因は。

**答** 始めるきっかけがないことや、身近にスポーツ

を行っている人や場所が少ないこと、情報が少ないことなどが考えられます。

**質問** 障がい者計画には、指導員養成とありますが、指導員は何名いますか。

**答** 県内では合計314名おりますが、本市における有資格者は初級指導員が6名となっております。

**質問** 相談や施設の案内をどのようにしていくのか。

**答** 東毛地域には障がい者スポーツクラブがないため、群馬県障害者スポーツ協会をご案内しております。

**質問** 障がい者スポーツの先進地となる考えがあるか。

**答** 情報提供のあり方や仕組み、施設を含む環境整備などを検討してまいります。

**質問** 普及活動を幅広く行う考えがあるか。

**答** 県や障がい者スポーツ団体等との連携を強め、指

導者の育成を図るなど誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めてまいります。

**質問** 障がいを持つ子どもがいる家庭に対する相談体制はどうなっているのか。

**答** 「相談支援センターほっと」、「相談支援事業にここ」において、相談に応じております。

**質問** 障がい者の就職についての現状を伺います。

**答** ハローワーク館林では、7・4%が就職につながり、館林高等特別支援学

校では、約30%が一般就労につくことができました。

**質問** 今後、障がい者への就労支援をどのようにしていくのか。

**答** 市民や企業が障がい者に対する理解を深め、勉強会や情報交換会を行うことで、真の障がい者雇用が前進すると考えております。

**要望** スポーツや雇用で、夢や希望を持ってもらうことが大切。住みやすいと思

つてくれる人がふえるまちづくりをお願いいたします。

# 公共施設等の管理方法について問う

斉藤 貢一 議員

**質問** 公共施設等総合管理計画策定にあたり、当市の指定管理者制度の運用実績が低い原因について伺います。

**答** 126施設のうち3

施設の導入と、県内他市に比べてかなり少ない状況にあります。各施設の運営実態に応じて判断しております。

**質問** 指定管理者と市との

間においては、基本協定を締結し、業務報告書等の提出やチェック機能の強化を図っていますが、根本的にはモニタリングとして、施設の適正な管理運営を確保するため、指定管理者の管理運営状況や業務継続能力を随時把握し、監督する責任が市にあることから、今

回のつづじが岡パークインの利用停止に関して、行政の責任が問われていると思います。利用停止の原因は、施設の老朽化と指定管理者の継続意志がないことによるものですが、現利用体制を維持するための工事費と今後の活用体制についての考えを伺います。

**答** 施設の開業当時の状態に戻す工事費として1億2800万円、さらにサービ

スの向上等を考えますとそれ以上の投資が必要になり

ます。職員による検討委員会では観光施設として活用がふさわしいと意見が集約されましたが、今後については、有識者や市民も含めた検討委員会の中で検討していきたいと考えています。

**要望** 本市には団体で宿泊し、入浴できる施設はここだけです。ぜひ存続と再生を希望しますとともに、指定管理者制度を導入する際には、同じ轍を二度と踏まないよう望みます。

**質問** 市が管理している大

手町駐車場の無秩序な管理運営についてどう考えているのか伺います。

**答** 管理委託先はなく、目的外利用者には張り紙による注意を促しております。

**質問** 近隣で空き地の駐車場への利活用が増え、安易な目的で借り受けることは民業圧迫につながる懸念もあり、その考えを伺います。

**答** 広く関係者の意見を伺いながら、今後の利用形態などについて慎重に検討してまいりたいと思います。